

桐生市立商業高等学校（定時制） 学校評価一覧表②（平成31年度（令和元年度）版）

羅 針 盤		達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②				総合
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校が好きだと感じている生徒の割合が80%以上である。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 様々な課題や悩みを抱えている生徒でも登校すれば、仲間や教職員が暖かく接してくれるので楽しい。学校は安心して学習できる環境が提供されている等の基本的なことを教職員全員で確認・評価しながら現在の取組を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校の様子から交通ルールを守っている。引き続き生徒の安全確保に努めてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で基礎・基本をおろそかかたにせず、やるべきことをしっかりやるのが大切で、そのために努力を惜しまない生徒を育てる。
		②球技大会や地区体育大会などの特色ある学校行事に生徒の80%以上が満足している。	A	B	A			
		③総合的な学習の時間（ふれあいの時間）を主体的に取り組んだと自己評価している生徒の割合が80%以上である。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④授業に対する生徒の評価を実施して、授業改善を推進する。「授業が分かりやすい」と回答する生徒の割合が80%以上である。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた到達度を設定・評価し、学習につまづきのある生徒でも、学びたい気持ちを持てるような指導を継続する。 簿記等の専門科目では、資格取得を奨励し、課外授業等も充実させながら取得率を高めた。 各教科・科目の単位を修得するためには、まずは地道に履修することの重要性を繰り返し生徒に説明し、保護者には面談等で周知徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定時制は、夢の実現に向けて、今後も個の確立、そして個性を伸ばす最良の場であってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> やりたいことをするために、やらなければならないことを設定させ、それを実行させる過程での間違いや失敗を生かせるような対応、カウンセリングマインドに立った授業改善に努める。
		⑤簿記や情報など資格取得に向けた指導に生徒の80%以上が満足している。	A	B	B			
	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	⑥定期テストや検定試験のために学習をする生徒の割合が70%以上である。	A	B	A			
		⑦成績不振科目のある生徒の割合が10%未満である。	A	A	A			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧職員打合せにおいて、生徒に関する情報交換を毎日実施している。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の職員打合せ等で、生徒に関する情報交換を継続したい。 欠席の理由や背景を保護者と共通理解し、状況に応じた指導の充実を図る。 「教育相談・いじめアンケート」や個人面談等を定期的実施し、その結果を全職員で共有する。その上でいじめと思われるようなことがあれば、いじめ防止委員会が迅速に対処する。 欠席の理由や背景を保護者と共通理解し、状況に応じた指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 愛情は技術にまさると思います。今後も、生徒一人ひとりに寄り添いながら、様々な課題と向き合ってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が教師に心を開いて安心していじめを受けていることを語ることができる関係になるために、教員から心を開いて生徒に語りかける。
		⑨学校の生活指導（あいさつ、頭髪・服装、遅刻・早退指導等）が適切であると回答する生徒・保護者の割合が80%以上である。	A	A	A			
		⑩いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	A	B	B			
	5 生徒は健康で、規則正ますか。	⑪欠席率が10%以下、遅刻率が10%以下である。	A	A	A			
		⑫交友関係がうまくいっていると感じている生徒の割合が80%以上である。	A	A	A			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	⑬適性や希望などを生かした計画的な進路指導を行っている回答する生徒の割合が70%以上である。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 1年次からキャリア教育を推進している。今年度も、早い段階から進路選択を意識させるため、進路ガイダンスにおいて、面接指導やグループワークなど実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 全日制進路指導部等との連携を継続し、全日制的教育資源を定時制の生徒にも活用してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒面談、保護者面談と通じて生徒一人ひとりの適性や希望を把握し、適切な進路指導を実践する。
	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑭進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒の割合が70%以上である。	B	A	A			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑮保護者面談等に積極的に参加している保護者の割合が70%以上である。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 1学期に全保護者を対象に保護者面談を実施した。その後も随時実施している。引き続き保護者との信頼関係づくりを推進したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も生徒の活動や活躍が新聞等で紹介されることを期待しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の活動及び活躍を積極的に発信する。
		⑯Webページを学期に3回以上更新している。	B	A	A			